

今を未来に

最近の子どもたちの様子から

【修学旅行に行ってきました】11月20・21日

子どもたちにとって6年間という長い小学校生活でも最も楽しみにしていたであろう修学旅行に先週行かせてもらいました。今年度も目的地は京都市でした。

1日目は金閣寺⇒立命館平和ミュージアム⇒立命館学食⇒龍安寺⇒耳塚⇒旧岡崎公会堂⇒銀閣寺⇒清水坂でのお土産⇒旅館という行程でした。紅葉の季節ということもあって、人と車の混雑は覚悟をしていましたが、予想以上の混雑はなく、どの見学場所でもしっかりと見学する時間が確保できました。でも、子どもたちに1日目で楽しかったことは何?と尋ねたら、「お買いもの」「旅館」と答えたことと思います。金閣寺に到着した時刻は予定より45分遅れだったのですが、班別の写真がスムーズに撮れたり、班別行動で道を間違える班もありましたが、歩くスピードを速めたりして、お買い物の時刻は予定通りとることができました。また、夜も特別なことを入れずに子どもたち同士の時間をたっぷりってあげたいとしたことで、就寝前の時間を有効に使っている子どもたちの姿がありました。

2日目は早朝の清水寺⇒三十三間堂⇒二条城⇒東映太秦映画村でした。早朝の清水寺は、人がほとんどいません。音羽の滝の水もゆっくり選んで飲んでいた子どもたちでした。三十三間堂では自分や友だちの顔に似た千手観音像を探しながら回り、二条城では大政奉還がされた部屋を見学し、鶯張りのあの音の秘密を見つけて、映画村へ向かいました。映画村でもたっぷり時間が取ってあったのですが、人気のお化け屋敷にもほぼ待ち時間なく入れたので、最後は少し時間を持て余す様子もみられましたが、どんな時にも笑顔いっぱいの子もたちでした。

今回の修学旅行は、結果として二人の仲間が欠席となってしまいました。そこには、ちょっぴり残念という気持ちを持ちつつ、でもその二人にいっぱい話ができるようにと意識しながらの修学旅行でした。なにより嬉しかったことは自分たちで楽しい思い出を作ろうとする6年生の姿でした。残すところあと4カ月ほどの小学校生活です。最後の最後まで全校の先頭に立ってくれる6年生の姿に期待します。



【保幼の年長さんと1年生が交流会を開催しました】 11月26日

17日の土曜授業の時、お家の方にお客さんになっていただき、自分たちで考えた遊びコーナーを紹介した1年生。26日は保々幼稚園・保々保育園の年長さんを招待して、体育館で交流会本番を迎えました。1歳しか変わらない子どもたちですが、体の違い以上にこの1年間でよく成長してきたんだなあと感じる様子がそここで見られました。特に、遊びを始める前に、画用紙などに書いた紙を提示して、遊びの説明をしますが、とてもきはきと言える子が多いなあと感じました。もちろん、年長さんたちがわかって聞いてもらっているかを確認する余裕はありませんでしたが、そこは、実際に見本を見せることでクリアーしている感じでした。



説明が終わって

遊びが始まると、年長さんは早速説明通りに遊びをやってみようとしていました。グリコじゃんけん、ティチェンツー、ジギジギザ、バタタケンチ、ハンカチ落とし、あやとり、縄跳び、おはじき、はないちもんめ、けん玉、コマ回し等々、名前だけを聞いてもわからない遊びが今年はとても多くて、見ている私も興味深々でした。

交流会を成功させることができたこの経験がこれからの学校生活への自信につながっていきけるといいなあと思っていました。1年生のみなさん、とてもよくできていましたよ。ありがとう！幼稚園・保育園へ帰る年長さんは「ありがとう。楽しかったです。」と笑顔いっぱい帰って行きましたよ。

置き勉のすすめをご存知ですか

昨今、子どもたちの成長を考えた時、ランドセルが重すぎるのではないかという議論がなされ、各小学校で重さ調べを行い、対策を講じることが教育委員会から求められています。本校は、入学時点で、学校に置いておくものと家に持ち帰るものを説明し、その基準で各学年でも、学校に置いておく学習用品と家に持ち帰る学習用品を分けて、子どもたちに指導をしてきました。

先日の月曜日に教頭先生が実測してもらったところ、以下のような結果になりました。

1年生：4.3kg 2年生：4.6kg 3年生：4.6kg

4年生：4.6kg 5年生：5.1kg 6年生：5.4kg

上記結果は平均値であり、重いランドセルでは5.8kgを超えている子も中にはいました。周りの子よりも重いランドセルの中身を見せてもらおうと、周りの子が先生の指導もあって「置き勉」として、「学校に置いていってよい。(置いていこう。)」と言われている資料集などが入っていたり、必要以上に筆箱に筆記具を入れていたり、寒くなってきてお茶をあまり飲まなくなって、帰りまでお茶がたくさん残っていたりしていたそうです。

今後も、定期的に学校に置いていってよい学習用品・道具などを確認し、過度に子どもたちの体に負担がかからないように学校でも指導を続けていきますが、一度家の方でも必要でないものまでランドセルに入れていないか、確かめてあげてください。中には、忘れ物ゼロを目指してか、時間割を合わせなくてすむためか、その日の学習にない教科の教科書・ノートを毎日持ち運んでいる子もいるようです。